

適性検査Ⅰ

注 意

- 1 問題は [1] から [9] までで、22ページにわたって印刷してあります。
- 2 検査時間は45分で、終わりは午前9時45分です。
- 3 声を出して読むはいけません。
- 4 解答はすべて解答用紙にはっきりと記入し、**解答用紙だけを提出**しなさい。
- 5 解答を直すときは、きれいに消してから、新しい解答を書きなさい。
- 6 性別・受検番号のみを解答用紙の決められた欄らんに記入しなさい。

さいたま市立浦和中学校

太郎くんのクラスでは、「総合的な学習の時間」に、自然と人間の生活のかかわりについて調べ、新聞の形にまとめ、発表することになりました。

そこで、太郎くんたちの班は、生活に関係深い「水」について調べることにしました。

次の文章は、太郎くんたちが見つけた水について書かれた文章です。これを読んで、問1～問4に答えなさい。

- ① 「生活していくために必要なものはなにか」というアンケート調査を東京都内の高校生に実施したところ、その結果は第1位がお金、第2位が携帯電話、第3位が電気だった。たしかにどれも便利なものだが、お金と機械が上位にあがるあたりは都会の生活を象徴しているといえるだろうか。

<段落②～⑧は問1にあります>

- ⑨ では、水を大切にすることは、具体的にはどのようにしたらよいのだろうか。
- ⑩ 初めに思いつくのは、節水をすることだ。日本人1人あたりの生活用水使用量は1日あたりおよそ320リットルといわれている。2リットルのペットボトルにして約160本だ。また、その内訳は、お風呂が24%、トイレが28%、炊事、洗濯、洗面と続いていく。この量は1965年に比べて、約2倍に増えている。水洗トイレの普及などが原因と考えられるが、歯磨きの時に水を出しっぱなしにしないようにしたり、浴槽のお湯を洗濯や洗車に使用したりするだけで、1965年当時の生活用水使用量まで減少することができる。それでもまだ160リットルである。50リットル以下の生活用水しか使用できない国が世界中に55カ国もあり、30リットル以下の国が38カ国、それぞれどこか、安全な水の確保に苦しむ国や地域も多いという現状を考えれば、蛇口の開け閉めをこまめに行うことや水をためて使うことなど、簡単にできる節水は今や地球人としての義務とも言えるだろう。ちなみに、いろいろな学者の研究による「人間らしい生活を営むことができる最低限度の水」の量は1日50リットルといわれている。
- ⑪ 節水について更に考えられるのは、雨水を利用する手立てである。これは個人でも少くともあれば植物への水やり、多くたためれば洗車に使用するなど、水道水の節約につながられるが、もっと大きな規模で節水の工夫が始まっている。例えば、東京ドームでは屋根の上に溜まった雨水を客席の下にあるタンクに集め、トイレの洗浄水や消防用水として活用している。
- ⑫ また、排水の再利用も始まっている。埼玉スタジアム2002には建物の中で排水を浄化し再利用するシステムがあり、千葉県の幕張新都心地区では広い範囲で下水処理場の処理水や工業用水の再利用をしている。
- ⑬ もう一つ、水の問題と並べられることは少ないが、水の節約と切り離せない我々の課題がある。それは、食糧の問題である。日本は大量の食糧を輸入している。食べ物を育てるには水が必要だ。だから、我々は大量の水を輸入しているとも言えるのである。この水はバーチャルウォーター（仮想水）と呼ばれている。植物を育てるためには水がいる。この植物を餌とする家畜を育てるためにはさらに

水が必要だ。ある試算では牛丼1杯を作るためのバーチャルウォーターは約9200リットルにも及ぶ。前述した日本人の1日の生活用水使用量から考えると、約29日分の水が1杯の牛丼にかかっている。

- ⑭ 実は水の最大の使い道は食糧生産なのだ。育てるための水や作るための水はまだ理解ができるが、年間約2200万トンもの食品廃棄物が出る日本は世界に対してどんないわけができるというのだろうか。日本は世界中の水をかき集め、無駄にしている。そんな批判をされないよう、残飯を出さない努力、残飯を出さないライフスタイルへの変換こそ、自然のバランスを大切にしなければならない、今の我々の課題といえるだろう。
- ⑮ 地球温暖化の問題について『不都合な真実』を書いたアメリカの元副大統領アル・ゴアは、その著書の中でこう述べている。「温暖化を引き起こしているのは、私たちにコントロールできない自然の力ではありません。隕石が衝突したわけでもなく、地球が太陽に近づいているわけでもありません。この問題を起こしている大きな原因は人間です。ですから、その問題を解決するのは私たちの [A] なのです。」と。また、こうも述べている。「私たちは、自らの民主主義に基づいて、わが地球を守るための法律を作るよう、みんなで行動を起こさなくてはなりません。なぜなら、行動せずにいるという余裕はないからです。」と。

問1 次のア～キは、段落②～⑧にあたります。段落②～⑧にあてはまるものを、ア～キの中から選び、ア～キの記号で答えなさい。

ア これでは、アンケートの答えとして「水」が上位に上がってこないのが当たり前のように思われるかもしれないが、資料(a)を見てほしい。降水量を人口で割ってみると、意外な数字が表れてくる。このように、降水量が多いからと言って1人あたりが使える水の量も多いとは限らないのだ。この点においても、水と人口の増加は無縁ではない。

イ さらに、技術だけでなく、爆発的な人口の増加も水をはじめとする地球の環境に大きな影響を及ぼしている。地球を循環する水の量のバランスがとれていることは前述したが、1人ひとりの人間の体を見ても、1日に体から出ていく水の量は、汗や尿など約2.3リットル。逆に体に取り入れている水分の量も飲み物や食べ物により約2.3リットル。体の60%～70%が水分といわれる人間の体も、バランスを保ちながら生命を維持しているといえる。ところが、資料(b)を見て、「自然なバランス」を感じる人はいないだろう。人間が水の循環を超えて、言い換えれば、他の生命との共存を無視して生きていくことは不可能なのだ。

ウ しかし、地上の水の量は地域によって大きな差がある。たとえば、太平洋のマイクロネシアにあるヤップ島では、1年間に約3000ミリも雨が降るのに対して、南米チリのアタカマ砂漠では1度も雨が降らない年がある。ただし、砂漠は水の循環から孤立した地域ではなく、砂漠に近い高山帯に降った雨が砂漠の地下水となり、砂漠から蒸発しているのだ。

エ 初めに水をとりまく状況を^{じょうきょう}確認しよう。地上から蒸発する水の量は約496兆トン、雨や雪となつて地上に降り注ぐ水の量はこれもまた約496兆トンで、収支はゼロになっている。この数字は地球上に生物が^{たんじょう}誕生して以来、変わっていないという。自然は^{ぜつみょう}絶妙なバランスの上に成り立っているといえるだろう。

オ 次は日本の状況を^{じょうきょう}見てみることにしよう。世界の1年の平均降水量は約900ミリであるのに比べて、日本の1年の平均降水量は約1700ミリ。つまり、日本では世界の平均の約2倍もの降水量があるのだ。もちろん、水道の普及率も高い。

カ これも地球全体を見ると、「バランス」といえるだろう。ところが、現在、^{さばく}砂漠化が進んでいる地域は、地球上の陸地の3分の1にも及び、9億人もの生活が脅かされている。これは降水量の減少など、自然的な原因によるものに加え、^{ばっさい}森林伐採などの^{じんいてき}人為的な原因によるものが増え、年々大きな問題となっている。また、今まで灌漑は我々人間の生活の向上に役立ってきたが、現在の我々の技術は自然による水の流れを変えることもできてしまう。その結果、川や湖の水が干上がってしまうという^{おそ}恐ろしい事態も起きている。

キ 水道の蛇口をひねれば、当たり前のように安全な水が出てくる私たちの社会では、あまり水の大切さや重要性を感じるができない。また、我々人間による自然破壊の影響が水に及んでいると言われても、蛇口から出てくる水が急に濁るわけではなく、我々に責任があることは理解できるが、今ひとつぴんとこないのが実情だ。我々は水に関する問題にどのように向き合えばよいのだろうか。

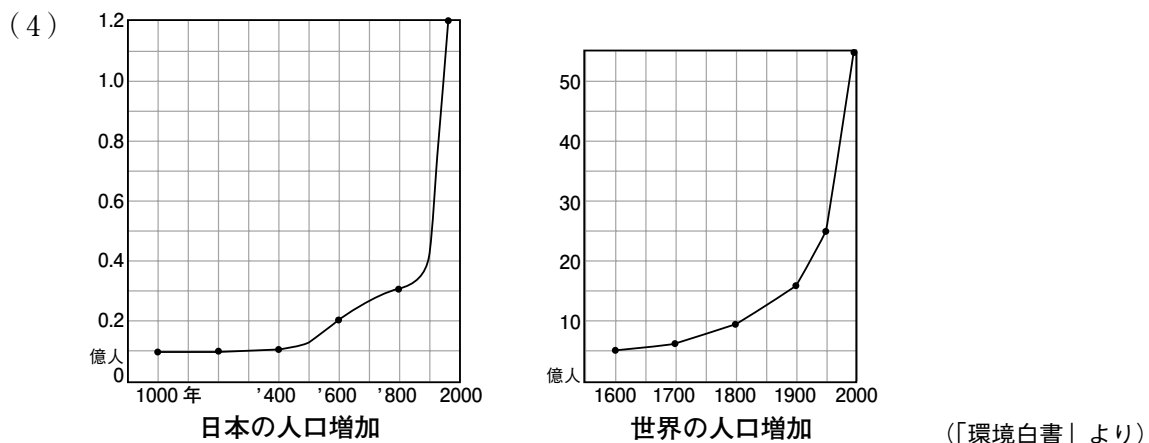
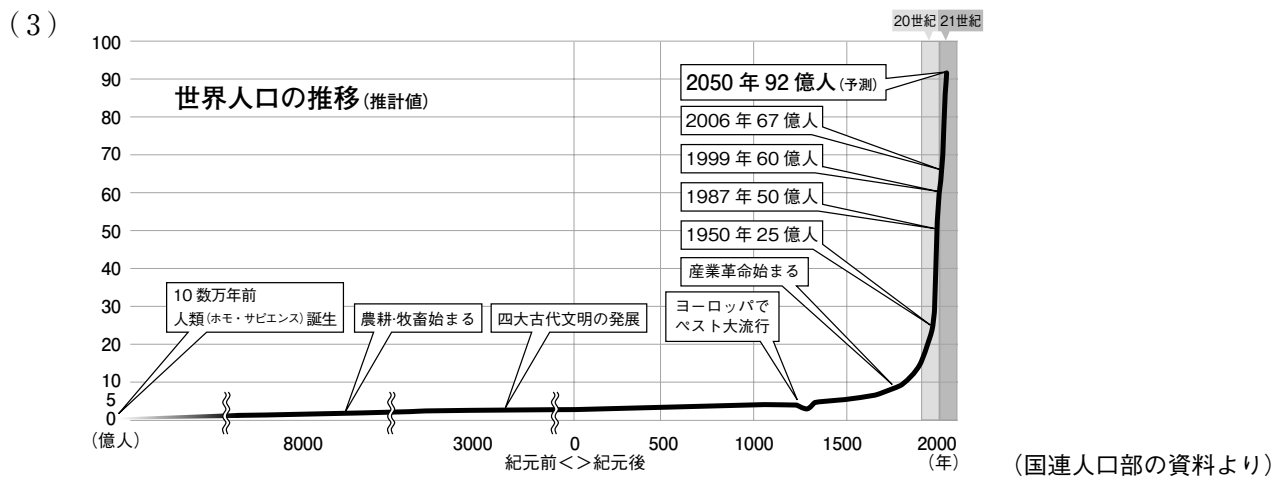
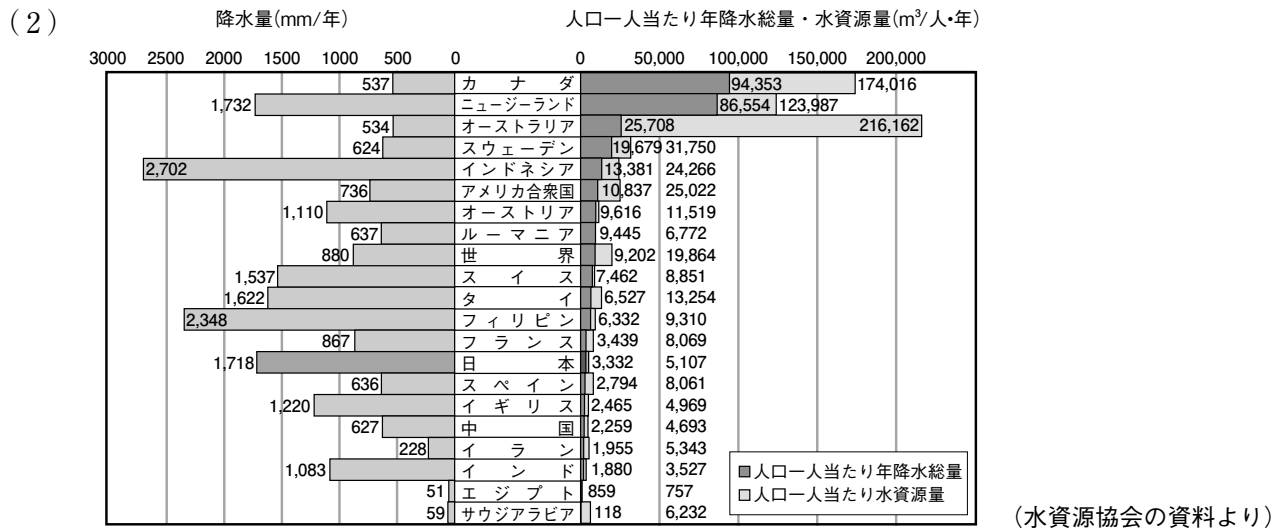
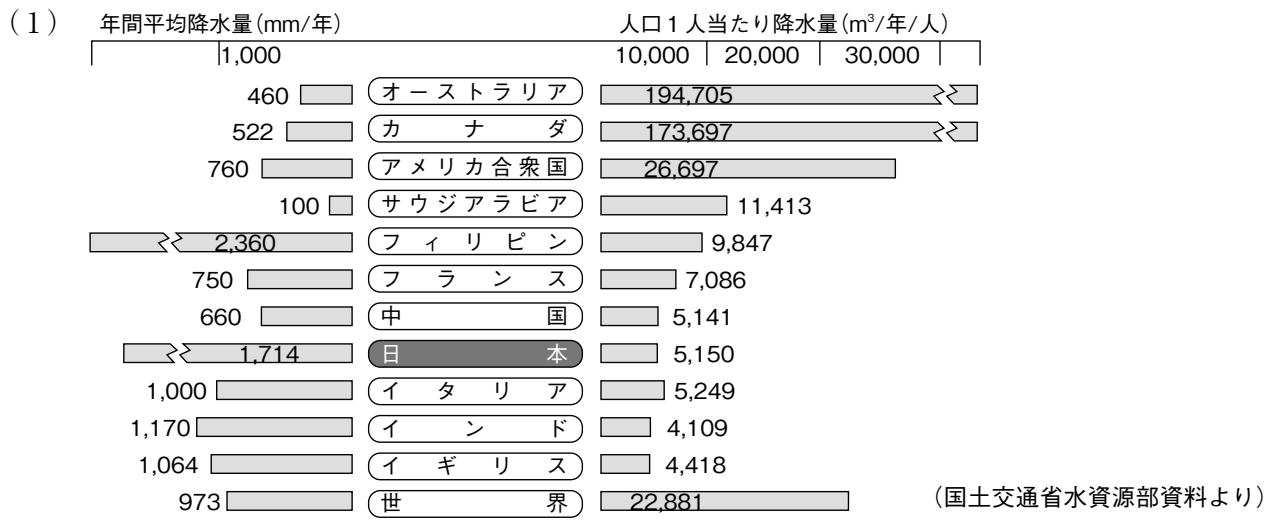
※灌漑：水を川や湖などから引いてきて農地をうるおすこと。

問2 段落⑩～⑭について、段落と段落の関係をよく考えて、筆者の話の進め方が最もよく表されている図になるように、例を参考に段落番号を で囲んで示しなさい。
ただし、解答は、解答用紙の段落番号を で囲むだけでよい。

例

a	段落 a の次に段落 b を述べ、
b	段落 b の内容をさらに詳しく段落 c と段落 d で述べるが、
c	
d	
e	次に新たな話題の段落 e を述べる。

問3 アの段落の中には「資料 (a)」、イの段落の中には「資料 (b)」という言葉があります。これらの資料は、それぞれの段落に添えてあると、より筆者の話の進め方に役立つと考えられる資料です。
(a) にあてはまる資料を次の (1) ~ (4) から選び、その番号を答え、その理由を30~40字程度で答えなさい。また、(b) にあてはまる資料を次の (1) ~ (4) から選び、その番号を答えなさい。



問4 段落⑮の A に入る言葉として最もふさわしい言葉を考えるとき、その言葉のある段落はどれですか。①～⑮の番号あるいはア～キの記号で答えなさい。

2

太郎くんはんの班では、1 の文章をもとに、水に関する新聞記事を書くことにしました。初めに、1 の文章を要約し、短くすることにしました。

次の文章は、太郎くんが要約した文章です。これを読んで、問1～問4に答えなさい。

太郎くんが要約した文章

世界的に見て、水不足や安全な水の確保に苦しむ地域ちいきは多いが、雨も多く、水道設備も整っている私たち日本人には実感しにくい。① 急激きゅうげきな人口の増加おんだんや温暖化か、砂漠化さぼくなどもその一因となっているようだ。② さらに、私たちの生活を向上させるための工夫が自然を破壊していることすらある。

そのような状況じょうきょうの中、私たちは日常でも簡単かんたんにできる節水や雨水の利用を考え、B の使用量削減さくげんを目指さなければならない。

また、多くの食糧しょくりょうを輸入たよに頼る私たちにとっては、食糧しょくりょうと水みづの関係わすも忘れてはならない。食糧しょくりょうを作り出すためにも水が必要なのだ。食糧しょくりょうを輸入することは世界中から水を輸入していることにもなる。③ 食べ残しなど、食糧しょくりょうの無駄むだをなくすことは節水にもつながる。

自然のバランスを壊しているのは、自然ではなく、人間である。今ある危機ききを知り、無駄むだづかいをなくす行動をとることが、現代に生きる私たちにとって大切なことである。④

問1 「太郎くんが要約した文章」の中で、次のア～ウやくわりの役割を果たしている文はどの文ですか。ア～ウにあてはまる文を、下線の引いてある①～④の中からそれぞれ1つずつ選び、①～④の番号で答えなさい。

- ア 筆者の推測すいそくや伝聞を表している文
- イ 筆者の出来事に対する解説を表している文
- ウ 筆者の出来事に対する感想を表している文

問2 この「太郎くんが要約した文章」を新聞記事の本文にした場合、見出しとリード記事*の組み合わせとして最もふさわしいものは次のア～エのどれですか。ア～エの中から1つ選び、ア～エの記号で答えなさい。

* リード記事：新聞記事のあらましを書いた前書き。見出しと、本文の間にある。

	見出し	リード記事
ア	「具体的な節水の方法」	環境問題について学習する機会は小学校でも多かったが、様々な節水の方法を手に入れた。身近で、すぐにでもできる節水とは…。
イ	「水不足に悩む地域」	環境問題について学習する機会は小学校でも多かったが、水不足に悩む国や安全な水の確保に苦しむ地域についてさらに調べた。その現状とは…。
ウ	「進む、地球温暖化」	環境問題について学習する機会は小学校でも多かったが、なかなか歯止めのかからない地球温暖化対策についてまとめた。その対策とは…。
エ	「新たな節水の方法」	環境問題について学習する機会は小学校でも多かったが、節水に関する新たな考え方を発見。水と食べ物の関係とは…。

問3 太郎くんの班では読み手にわかりやすくするための工夫として、「太郎くんが要約した文章」中の **B** について、用語解説を入れることにしました。**B** にあてはまる語句を、**1** の太郎くんたちが見つけた水について書かれた文章から探し、その語句を書きなさい。

用語解説「 **B** 」について

飲料水、調理、洗濯、風呂、掃除、水洗トイレ、散水等の家庭用水及び飲食店、デパート、ホテル、プール等の営業用水、事務所等の事業所用水、噴水、公衆トイレ等の公共用水、消火用水等の都市活動用水として使われている水の総称。

3

太郎くんと同じ班の花子さんは、新聞に掲載する読み物として、自然と人間との関わりに視点を当てて書かれた、星野道夫作『アラスカ 風のような物語』の一部を用意しました。

これを読んで、問1～問6に答えなさい。

花子さんが用意した『アラスカ 風のような物語』の一部
 星野道夫作『アラスカ 風のような物語』
 小学館文庫P 2 3 3 ページ 1 5 行目から 2 5 0 ページ 1 2 行目の文章による

問1 下の で囲まれた文は、花子さんが用意した星野道夫作『アラスカ 風のような物語』の一部です。下の で囲まれた文は、本文のどこに入りますか。入る段落を探し、その段落の初めの3字を書きなさい。

自然とは人間の暮らしの外にあるのではなく、人間の営みさえ含めてのものだと思う。

問2 花子さんが用意した星野道夫作『アラスカ 風のような物語』の一部の文中の下線①について、花子さんは次のように説明しました。「花子さんが説明した文」の空欄 と にふさわしい言葉を、 の太郎くんたちが図書館で見つけた「水について書かれた文章」から探さない。 には5字の言葉が、 には2字の言葉が入ります。 と に入る言葉を書きなさい。

花子さんが説明した文

この老婆は、自分に必要な「エスキモーポテト」をネズミの穴からもらう代わりに、持ってきた「ドライフィッシュ」を穴の中に入れました。このことは、さまざまな自然の営みの中で人間が生きていることを筆者に再確認させました。人間は を目指し、技術を進歩させてきましたが、人間だけが自然の恵みを受け続けられるような錯覚に陥っているのではないのでしょうか。この老婆の行動は、人間が自然界の一員として他の生命と して、地球上のすべての生命が他の生命に深く関わって生かされているという、大自然の法則を老婆が自覚していることを表しています。

問3 花子さんが、先生にお見せするため文を見直したところ、「花子さんが説明した文」の中に漢字の間違いがありました。その文字を正しく直したときに使われる漢字を含んだ熟語を、次のア～エの中から1つ選び、ア～エの記号で答えなさい。

正しい漢字を含んだ熟語

ア 方位角 イ 連係 ウ 食事代 エ 側道

星野道夫さんの文章と、問2の「花子さんが説明した文」について、花子さんは先生と次のような会話をしました。

この会話を読んで、問4～問5に答えなさい。

花子さんと先生の会話

先生：花子さん、とてもいい説明だね。水を含めた自然と人間のつながりについて、先生も考えさせられたよ。

花子：太郎くんが紹介してくれた、水に関する文章の中にも「自然のバランス」という言葉がありました。

先生：そうだね。ところで、新聞にこの文章を載せるという話だが、長いので全部は無理そうだね。どこか、話の区切りは見つかるかい？

花子：はい。 という言葉から始まる段落からうしろを後半として、後半を載せてもらうようにします。

先生：それがいい。もう一つ、この作品は『アラスカ 風のような物語』という名前だけれど、新聞

の中で紹介する文章には別のタイトルをつけた方がよいと思うよ。

花子：記事の名前という意味ですね。わたしは、この読み物を読んだ人に、人間と自然とのつながりを想像してほしいと思います。だから、人間も含めた自然を大切にすることを考えるようなタイトルがいいですね。本文の中にある ③ はどうでしょうか。

先生：花子さんは準備がいいね。新聞の完成までもう少しがんばろう。

問4 花子さんと先生の会話の中で、空欄 ② には、文章を前半と後半に分けたとき、後半の始まる段落の初めの3字が入ります。空欄 ② にあてはまるものを、花子さんが用意した星野道夫作『アラスカ 風のような物語』の一部から探し、書きなさい。

問5 花子さんと先生の会話の中で、空欄 ③ には、この記事にふさわしいタイトルが入ります。空欄 ③ にあてはまるものを、花子さんの立場に立って、花子さんが用意した星野道夫作『アラスカ 風のような物語』の一部から探し、10字以内で書きなさい。

4

太郎くんの班では、水についてさらに学習するため、さいたま市水道局職員の方に電話で質問をしました。そして、そのお礼に手紙を書くことにしました。

これについて、問1～問3に答えなさい。

問1 次のア～キは、太郎くんが書いた「お礼の手紙」です。下の図は手紙全体の構成図です。「手紙全体の構成図」の①～⑦に入る言葉や文をア～キの中からそれぞれ1つ選び、ア～キの記号で答えなさい。ただし、ア～キの言葉や文は、実際にはたて書きとします。

ア：〇〇小学校六年一組

浦和 太郎

イ：さいたま市水道局宛

ウ：また、図書館などで調べてみると、世界には生活するための水が足りないところや安全な水が手に入りにくい地域がたくさんあることがわかりました。

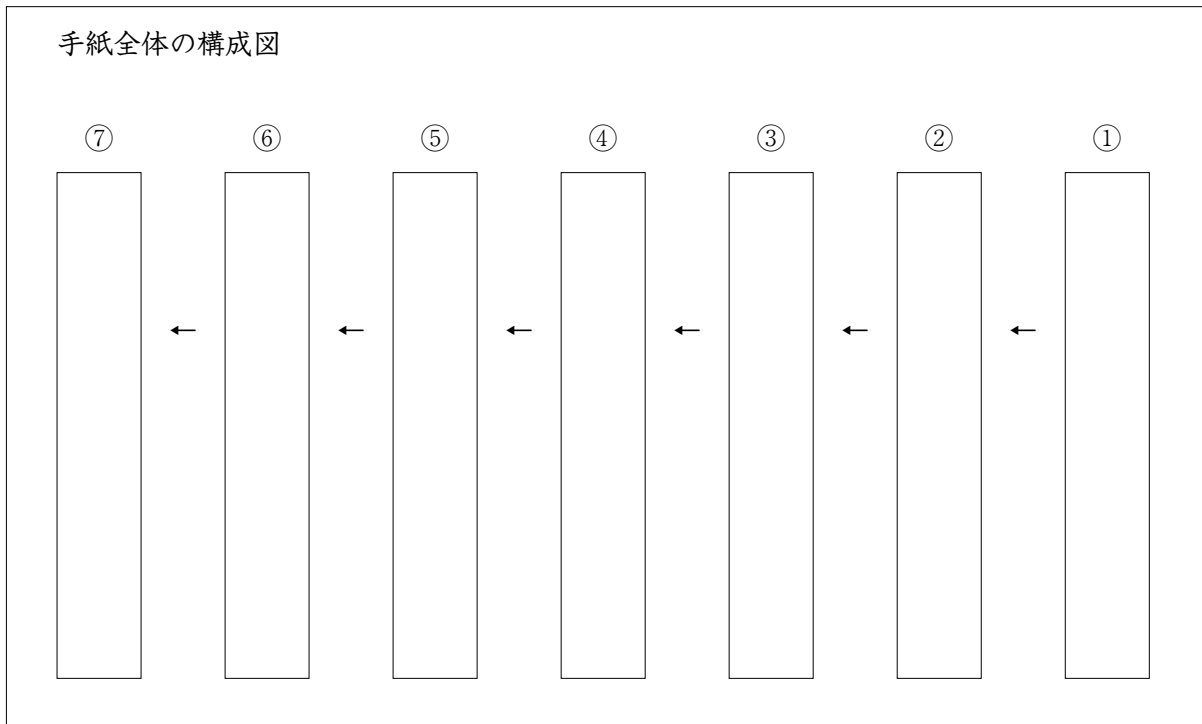
エ：こんにちは。先日お電話をいたしました〇〇小学校六年一組の浦和太郎です。急なお願いにもかかわらず、ていねいに説明してくださり、とても勉強になりました。ありがとうございました。

オ：毎日の水の管理がとても大変だということもわかりました。お体に気をつけてお仕事がんばってください。私たちも勉強やクラブ活動を精一杯がんばります。本当にありがとうございました。

カ：さいたま市水道局の方のお話の中に、何度も出てきた「安全な水」という言葉が印象に残っています。クラスでの発表の後、同じクラスの友達も水道の蛇口をひねるときに、水道局の方の話を思い出すと話していました。

キ：平成二十年一月十九日

手紙全体の構成図



問2 太郎くんがこの手紙を見直してみると、ア～キの中に、手紙の書き方として間違っている箇所が1つありました。間違っている箇所を言葉で書き出し、正しく直したものを書きなさい。

太郎くんは、同じ班の花子さんと先生に下書きの手紙を読んでもらい、清書することにしました。先生と花子さんからは、次のようなアドバイスをもらいました。

先生と花子さんからのアドバイス

先生：太郎くん、とてもしっかり書けたね。お礼の手紙はただ「ありがとうございます」という言葉だけではなく、何に感謝しているのかを具体的に書く必要があるよ。

太郎くんの手紙には、お話を聞いて学んだことや印象に残っていることが書いてあるね。言葉遣いもていねいだから、あとは といいよ。

花子：先生のおっしゃるとおりだわ。太郎くんのふだんのノートを見ていると心配だもの。それから、感謝の気持ちをこめて、 ことにしたらどうかしら。

先生：それはいいね。

太郎：そうですね。追伸として「僕たちが作成した新聞です。読んでください。」と書き加えておきます。

問3 「先生と花子さんからのアドバイス」の中で、空欄 と にふさわしい言葉は何ですか。 と に入る言葉を書きなさい。

5

花子さんの班では、「総合的な学習の時間」に、さいたま市のことを調べて、発表することにしました。

花子さんや、花子さんと同じ班の班員の発表について、問1～問5に答えなさい。

問1 次の「発表原稿1」は、花子さんが発表で使ったものです。また、「パネル1」は、花子さんが発表のときに使った地図です。花子さんが使った「発表原稿1」の、①～④にあてはまる市町名を書きなさい。

発表原稿1

わたしは、さいたま市の位置について調べました。さいたま市は、東京から20～40km圏の関東平野のほぼ中央に位置し、周囲がすべて他の市や町とつながっています。東は(①)市・越谷市、西は(②)市・富士見市・志木市・朝霞市、南は(③)市・蕨市・戸田市、北は上尾市・蓮田市・(④)町に接しています。合わせて12の市や町に接しています。

パネル1

さいたま市を取り巻く市や町の地図



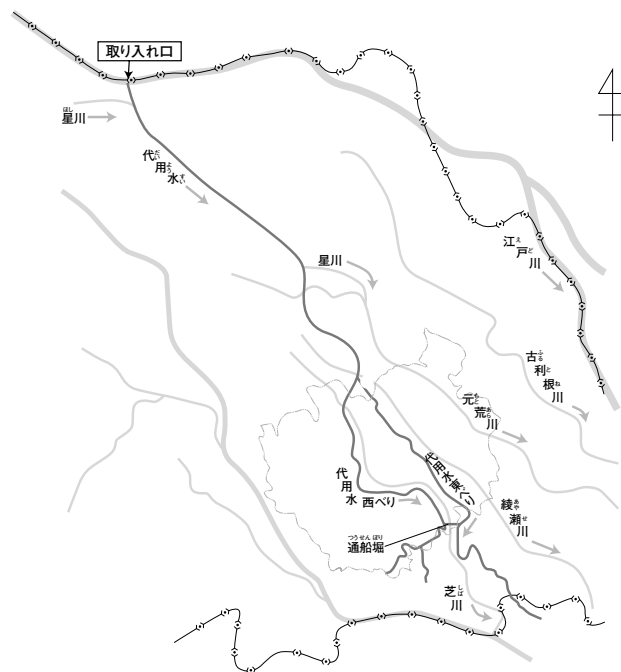
問2 次の「発表原稿2」は、花子さんと同じ班の班員 A さんが発表で使ったものです。また、「パネル2」は、班員 A さんが発表のときに使った図です。班員 A さんが使った「発表原稿2」の、①～③にあてはまる代用水や川の名前を書きなさい。

発表原稿2

わたしは、さいたま市を流れる川を調べていくうちに、江戸時代に引かれた「(①) 代用水」に興味をもちました。これは埼玉県北部を流れる (②) 川から水を取り入れ、さいたま市内では東べりと西べりに分かれています。これらのほぼ中央に芝川が流れています。代用水西べりは芝川へ、芝川は (③) 川に合流します。この代用水ができたことによって、当時の村人の暮らしは大きく変わりました。

パネル2

さいたま市に流れる川を説明する図



問3 先生が、班員 A さんの発表内容を聞いて、「代用水ができたことによって、当時の村人の暮らしがどう変わったかを加えると、よりよい発表になりますよ。」とアドバイスをしてくださいました。班員 A さんは、村人の暮らしの変化をまとめました。班員 A さんがまとめたア～エの中から正しくないものを1つ選び、ア～エの記号で答えなさい。

ア 代用水がつくられ、広いため池は新しい田にかわり、代用水のまわりの村々では、新しい田をもつことができ、米がたくさん取れるようになった。

イ 代用水から、十分な水を引けるようになったので、下流の村々では田に使う水を代用水から取り入れ、いらなくなった水を芝川へ流した。

ウ 上流の村々では、代用水のまわりの多くの沼地が新しく田に変わった。

エ 代用水が引かれると、新しく田ができ、農作物が米から野菜などに変わった。

問4 次の「発表原稿3」は、班員Bさんが発表で使ったものです。また、「パネル3」は、班員Bさんが発表のときに使ったグラフです。次の(1)～(3)に答えなさい。

- (1) さいたま市や他の都市の気候を示したア～エのグラフの中で、さいたま市の気候を示したグラフはどれですか。ア～エの記号で答えなさい。
- (2) さいたま市や他の都市の気候を示したア～エのグラフの中で、最も北に位置する都市の気候を示したグラフはどれですか。ア～エの記号で答えなさい。
- (3) (2)で、最も北に位置する都市の気候を示したグラフとして選んだものについて、選んだ理由を書きなさい。

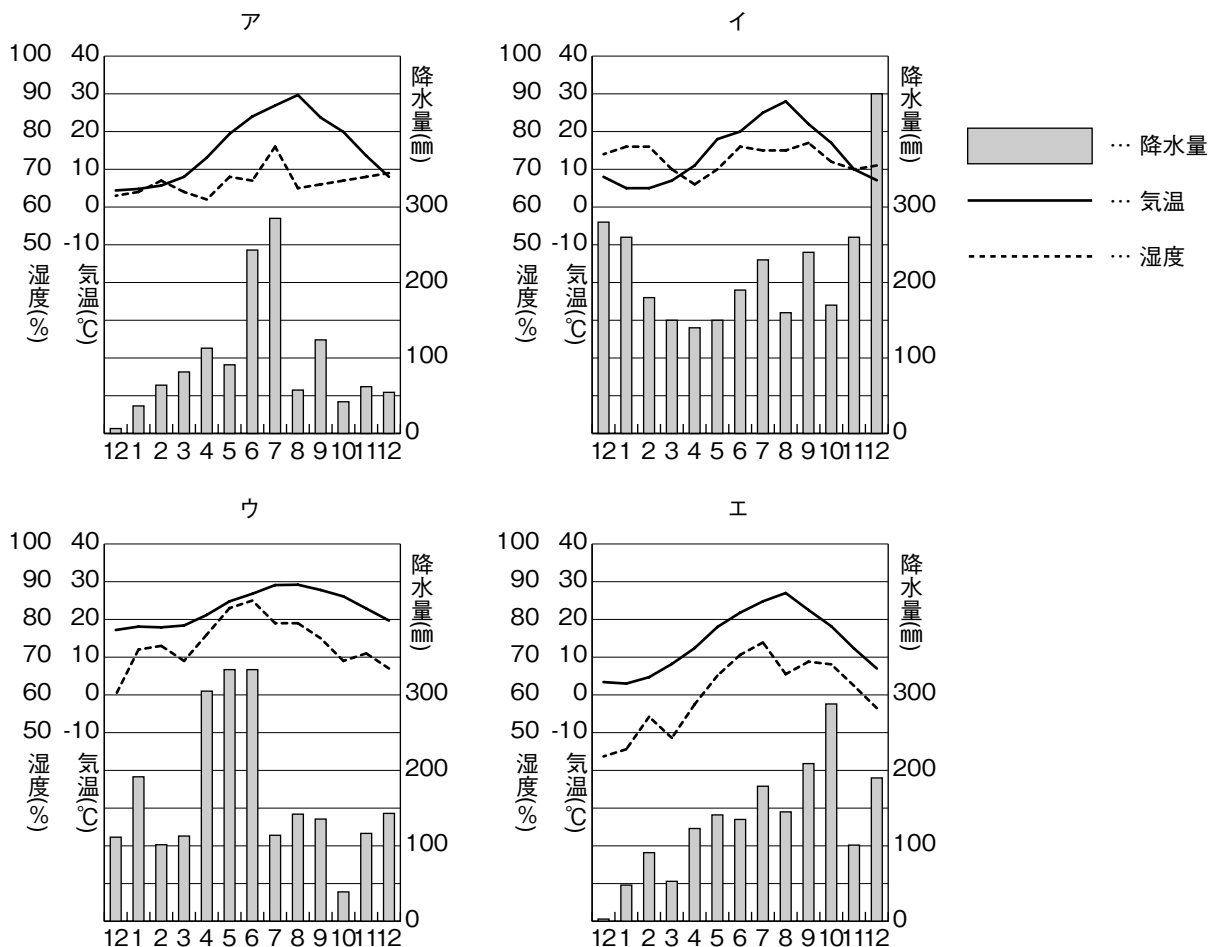
発表原稿3

わたしは、さいたま市の気候を調べました。調べた結果、さいたま市の1年間の平均気温はおよそ15度で、1年間の降水量はおよそ1300mmでした。さいたま市の気候は、夏は高温多湿で、冬は乾燥し、快晴が続きます。

また、比較のために、他の3都市の気候も調べてみました。

パネル3

さいたま市や他の都市の気候を示したグラフ



(気象庁のデータより)

問5 次の「^{げんこう}発表原稿4」は、^{はんいん}班員Cさんが発表で使ったものです。また、「^{はんいん}パネル4」は、^{はんいん}班員Cさんが発表のときに使った表です。

^{はんいん}班員Cさんが発表で使った「^{げんこう}発表原稿4」で、①～④に入る農産物のうち、最もよい組み合わせは次のア～オのどれですか。最もよい組み合わせを1つ選び、ア～オの記号で答えなさい。

- ア ① くだもの ② 野菜 ③ 植木 ④ 米
イ ① 米 ② くだもの ③ 野菜 ④ 植木
ウ ① くだもの ② 植木 ③ 野菜 ④ 米
エ ① 米 ② 野菜 ③ 植木 ④ くだもの
オ ① 野菜 ② くだもの ③ 米 ④ 植木

^{げんこう}発表原稿4

わたしは、さいたま市の農業について調べました。さいたま市の^{ちいき}東部地域は、Aさんが発表した「代用水」の周辺で、(①)が生産されています。その東側の台地では、(②)、(③)、花などが生産されています。お正月料理に使われる「くわい」も特産品として生産されていますし、北区にある^{ほんざい}盆栽村は海外でも有名で、多くの^{おとず}愛好家が訪れます。

また、西部^{ちいき}地域の^{りゅういき}河川流域は、県内有数の(①)の産地であり、北西部の台地では、(②)や(④)が生産されています。ブルーベリーやぶどうなどの観光農園があります。

パネル4

さいたま市の農産物生産額の上位5品目をまとめた表

- 第1位 米
第2位 ほうれんそう
第3位 こまつな
第4位 植木 (^{なえぎ}苗木)
第5位 トマト

「埼玉農林水産統計年報」より

6

太郎くんは、さいたま市が「サッカーのまち さいたま」のまちづくりを進めていることに興味をもちました。そこで、太郎くんと太郎くんの姉は、休日を利用して浦和区の^{こまば}駒場運動公園内にあるさいたま市^{こまば}駒場スタジアムに出かけることにしました。

これについて、問1に答えなさい。

問1 太郎くんは、お父さんからさいたま市駒場スタジアムに出かけるために必要な小遣いをもらうことにしました。

下の太郎くんとお父さんの会話の中の、①～⑦にあてはまる言葉をそれぞれ①～⑦の後ろにあるア～エの中から1つ選び、ア～エの記号で答えなさい。

太郎くんとお父さんの会話

太郎：今度の日曜日に、お姉ちゃんと一緒に駒場運動公園に行って、さいたま市駒場スタジアムを見てきたいので、交通費とおやつ代として1000円をください。

父：ところで太郎、現在の千円札の肖像に使われている人物は誰だか知っているかい。

太郎：世界的に有名な医学者、野口英世博士だよ。アフリカに渡って、①（ア 破傷風 イ 黄熱病 ウ 赤痢 エ 狂犬病）の研究をした学者だよ。その前には、夏目漱石の肖像が使われていたよ。最近、彼の作品で、②（ア 舞姫 イ 夜明け前 ウ 坊っちゃん エ 羅生門）を読んだよ。

父：太郎、よく知っているね。そのとおりだよ。では、現在の5千円札の肖像に使われている「たけくらべ」という作品を書いた小説家は誰だか知っているかい。

太郎：③（ア 与謝野晶子 イ 樋口一葉 ウ 津田梅子 エ 荻野吟子）だよ。

父：そのとおり。よく知っているね。

太郎：1万円札の肖像に使われている人物は、福沢諭吉という人物だよ。

父：太郎は、歴史上の人物に興味があるようだね。

福沢諭吉という人物は、日本中が開国か鎖国かで大騒ぎしている時、オランダ語を勉強していたんだけど、西洋の学問を学ぶにはオランダ語よりも、④（ア ドイツ語 イ フランス語 ウ 英語 エ 中国語）を身に付ける必要性を知ったんだよ。その後、アメリカやヨーロッパに渡り近代文明を知り、その時のことを『西洋事情』という本にまとめた人物なんだよ。⑤（ア 江戸時代 イ 明治時代 ウ 大正時代 エ 昭和時代）になると、福沢諭吉をはじめ多くの人物によって、西洋の制度や技術とともに新しい文化が紹介されるようになったんだよ。

そうそう、ちょうどこの時代に活躍した人物で、埼玉県深谷市に生まれ、多くの人々から資金を集めて経営する株式会社を日本で初めてつくった人物を知っているかい。

太郎：⑥（ア 板垣退助 イ 伊藤博文 ウ 大隈重信 エ 渋沢栄一）だよ。

父：太郎、2千円札を見てみよう。表には、沖縄県にある首里城の守礼門が描かれているんだよ。裏には、平安時代の女性歌人で、源氏物語の作者として有名な、⑦（ア 小野小町 イ 北条政子 ウ 紫式部 エ 清少納言）が描かれているんだよ。この2千円札をあげるから、気をつけて行ってきなさい。

太郎：はい。お父さん、ありがとう。

7

太郎さんと太郎さんの姉は、さいたま市の地形図をたよりに、北浦和駅から徒歩で駒場運動公園こまばに向かいました。

これについて、次の問1～問4に答えなさい。

さいたま市の地形図の一部



〈1 : 25000〉



(国土地理院発行の地図より)

- 問1 北浦和駅から見て、駒場運動公園こまばはどの方角にありますか。方角を答えなさい。
- 問2 太郎さんと姉が用意した地形図は、実際の距離を25000分の1きょりに縮めたもので、北浦和駅から駒場運動公園までの距離を地図上で測ってみると、6.5cmでした。実際の距離は何mですか。
- 問3 太郎さんと太郎さんの姉は、北浦和駅を出発してしばらく歩きましたが、駒場運動公園が見えてこないのが不安に思い、道をたずねました。そのときの様子が、「太郎くんが道をたずねたときの様子」です。太郎くんが道をたずねた場所は、地形図の中のア～オのどこですか。1つ選び、ア～オの記号で答えなさい。


太郎くんが道をたずねたときの様子


駅前の道をまっすぐ150mほど歩きました。すると道が二つに分かれていたので、北寄りの道を選びました。右側に高校を見ながら進んで行きました。

すると、車の通りが多い交差点に着きました。その場所で、歩いて来た人に道をたずねました。その人は、「この道をまっすぐゆるやかな坂道を歩いていくと、右側に中学校、左側に体育館があります。駒場運動公園の入り口はその先です。」と教えてくれました。

- 問4 太郎くんと太郎くんの姉は、さいたま市駒場スタジアムの見学を終え、駒場運動公園で休憩をとりました。太郎くんは、太郎くんの姉に、地形図から読み取った内容を、次のように話しました。「太郎くんが地形図から読み取った内容」のア～エには、数や言葉が入ります。ア～エにあてはまる数や言葉を書きなさい。

太郎くんが地形図から読み取った内容

- (1) (ア) から (イ) の方角に流れる芝川のまわりには、水田や畑、荒地、果樹園が多く見られる。
- (2) 芝川の周辺は海拔5m程度だが、北浦和駅周辺は海拔(ウ)mとなっている。
- (3) 市立病院は芝川の南側に位置し、すぐ近くには地図記号『』で表される(エ)がある。

- 問5 地形図のは、老人ホームを示しています。この記号は最近使われるようになりました。老人ホームを表すのは、次のア～オのどれですか。ア～オの記号で答えなさい。

ア



イ



ウ



エ



オ



花子さんは、オリンピックが北京で開催されることから、夏休みの自由研究で中国と日本の交流の歴史について調べ、年表にまとめました。

下の「花子さんがまとめた年表」を見て、問1に答えなさい。

問1 「花子さんがまとめた年表」中の補足説明①～⑩には、次のア～コの文が入ります。補足説明

①～⑩にふさわしい文を1つ選び、ア～コで答えなさい。

ア 埼玉県行田市にある稲荷山古墳では、ワカタケル大王の名が刻まれた鉄剣が発見されている。

イ 福岡県志賀島で金印が発見されている。

ウ 以後、日本独特の文化（国風文化）が広まり、仮名文字が使われるようになる。

エ 「弘法も筆の誤り」ということわざをよく聞くが、弘法大師の名で今も書道の達人として知られている。

オ 「元寇」といって、当時中国を支配していたモンゴル民族のつくった「元」という国が日本も支配下に入れようとした。

カ 京都に金閣寺という寺が建てられた。

キ 奈良に唐招提寺という寺が建てられた。

ク 「鎖国」の時代の中で、中国とオランダは貿易が許されていた。

ケ 佐賀県の吉野ヶ里遺跡がこの時代のものとされている。

コ この頃、聖徳太子が活躍していた。

花子さんがまとめた年表

西暦(年)	主なできごと	補足説明
57	倭の奴国の王が後漢に使いを送る	(①)
239	邪馬台国の女王卑弥呼が、魏に使いを送る	(②)
478	倭王武が宋に使いを送る	(③)
607	遣隋使として小野妹子を派遣する	(④)
630	第1回遣唐使を派遣する	
753	唐から鑑真が来日する	(⑤)
804	最澄・空海が唐に渡る	(⑥)
894	遣唐使の派遣をやめる	(⑦)
1274	文永の役が起きる	(⑧)
1281	弘安の役が起きる	
1404	足利義満が明と勘合貿易をはじめる	(⑨)
1688	長崎に唐人屋敷が設置される	(⑩)
1894	日清戦争が始まる	
1937	日中戦争が始まる	
1978	日中平和友好条約がむすばれる	

太郎くんは、夏休みに行われた参議院議員選挙を、夏休みの自由研究の題にしました。そして、参議院議員の議席を決めるしくみについてまとめました。

次は、参議院議員選挙について、太郎くんの調べたことをまとめたものです。これについて、問1～問3に答えなさい。

問1 太郎くんが調べた「参議院議員の議席を決めるしくみ」の説明文中で、①～③には数字が入ります。①～③にあてはまる数字を答えなさい。

参議院議員の議席を決めるしくみ

- ・選挙は、3年に1回おこなわれる。
- ・選挙権は（①）歳以上の国民にある。
- ・立候補できるのは30歳以上の国民である。
- ・1回の選挙で参議院の議席数（242議席）の半分が改選される。
- ・選挙区選挙と比例代表選挙の2種類があり、それぞれ1票ずつ投票することができる。
- ・各都道府県単位の選挙区がある。つまり、全国を（②）選挙区に分け、人口に応じて1名から4名を各都道府県にわりあてる。1回の選挙で73名を選出する。
- ・全国単位の比例代表がある。全国単位で各政党の得票数（候補者票数と政党票数を足したもの）を集計して、ドント方式で各政党に配分する。1回の選挙で（③）名を選出する。

問2 太郎くんは、比例代表のドント方式による議席配分の仕方がよくわからなかったので、さらに調べてみました。太郎くんが調べた「ドント方式について」の説明文をもとにすると、次の①～④にあてはまる各政党の当選人数は何人になりますか。①～④にあてはまる数字を答えなさい。ただし、当選する議員の総数は9名とします。

政党名	ア党	イ党	ウ党	エ党
得票数	1920	1680	1080	960
当選人数	(①)	(②)	(③)	(④)

ドント方式について

政党名 ^{せいとう}	A 党 ^{とう}	B 党 ^{とう}	C 党 ^{とう}
得票数	1 8 0 0 票	1 5 0 0 票	9 0 0 票
得票数を1で割る ^わ	1 8 0 0 ①	1 5 0 0 ②	9 0 0 ③
得票数を2で割る ^わ	9 0 0 ④	7 5 0 ⑤	4 5 0
得票数を3で割る ^わ	6 0 0 ⑥	5 0 0	3 0 0
得票数を4で割る ^わ	4 5 0	3 7 5	2 2 5
当選人数	3 名	2 名	1 名

- ・ A党、B党、C党が比例代表で争った結果、上の表のようになったとする。そして、当選する議員の人数を6名とする。
- ・ 各政党の得票数を1、2、3、・・・で割っていく。
- ・ 割って得られた数の大きい順から数えていって、⑥番目までが各政党に配分される議席の数になる。この例の場合、A党では3名、B党では2名、C党では1名が当選することになる。

問3 太郎くんは、選挙について調べていく中で、日本は参議院と衆議院の二院制、アメリカ合衆国は上院と下院の二院制をとっていることがわかりました。そこで、太郎くんは、「二院あることの長所と短所」を次のようにまとめてみました。

- 太郎くんがまとめた「二院あることの長所と短所」の中で、①～②にあてはまる言葉は何ですか。
①～②にあてはまる言葉を書きなさい。

二院あることの長所と短所

- ・ 長所 (①) に審議されるので、慎重さや公正さが期待できる。
- ・ 短所 両院の意見が合わなければ、議案が決まらないので、審議が (②) なる。

